

第11回情報公開委員会議事概要

平成27年10月 1日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

1. 日時 平成27年 9月 8日(火) 13:30~14:45

2. 場所 TKP東京駅前カンファレンスセンター 4階
カンファレンスルーム4A
(〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル)

3. 出席者 委員長 碧海 酉癸 消費生活アドバイザー
委員長代理 鈴木 秀美 慶應義塾大学
メディア・コミュニケーション研究所 教授
委員 浅田 正彦 京都大学大学院 公共政策連携研究部 教授
委員 市村 元 関西大学 客員教授
委員 高後 元彦 弁護士
委員 高橋 明男 大阪大学大学院 法学研究科 教授
委員 西土 彰一郎 成城大学 法学部 教授

4. 議題

- (1) 第10回情報公開委員会議事概要について
- (2) 平成26年度開示請求対応状況について
- (3) 情報公開委員会検討部会の開催状況について
- (4) その他

5. 配付資料

- 情公11-1 第10回情報公開委員会議事概要
- 情公11-2 平成26年度の開示請求対応状況について
- 情公11-3 情報公開委員会検討部会の開催状況について
- 情公11-4 リスクコミュニケーション活動について

6. 議事要旨

- (1) 第10回情報公開委員会議事概要について

事務局から、情公11-1に基づき、第10回情報公開委員会議事概要について報告があり、確認がなされた。

(2) 平成26年度の開示請求対応状況について

事務局から、情公11-2に基づき、平成26年度の開示請求対応状況について報告があり、確認がなされた。

(3) 情報公開委員会検討部会の開催状況について

事務局から、情公11-3に基づき、情報公開委員会検討部会の開催状況について報告があり、確認がなされた。

(4) その他

事務局から、情公11-4に基づき、リスクコミュニケーション活動について報告があった。委員からの主な意見は次のとおり。

- ・ リスクコミュニケーション活動の手段として広報誌が紹介されたが、詳しく説明しようとする余り、文字の数が多く小さいと思う。改善を検討してほしい。
- ・ 福島第一原子力発電所の事故の際にも明らかになったが、細部にわたる点、専門的にまだ不明確な点についても「わかっていない情報」として積極的に出すことが重要である。その上で裏付けや根拠を出して説明することで、より良いリスクコミュニケーションを取ることができる。
- ・ 若い世代には、You Tubeなどの動画が非常に有効。内容を視覚に訴え、短時間で理解できるという利点がある。ぜひ機構でも取り組んでいただきたい。
- ・ また、動画は単なるPRではなく「正確に物事を理解していただく」ことが最も重要な目的であることを念頭に置いてほしい。
- ・ リスクコミュニケーションのコンセプトは、国民との信頼関係を作ることであり、過去の失敗例や原子力に対する批判的な意見等を載せることも重要ではないか。
- ・ コミュニケーションの対象となる方々に理解してもらえる言葉であることが大切で、専門的な用語の見直しにも取り組んでいただきたい。
- ・ 信頼してもらうためには、隠していることがないと思ってもらうことが重要。都合の悪いことでも正確に伝えることで、原子力機構はたとえマイナスの情報であっても隠さない組織だと国民から思ってもらえるように努めることが大事である。

以 上